

令和6年度

事業報告書

特定非営利活動法人 日本若手精神科医の会

1 事業の成果

令和6年度も、精神医学教育推進、精神医療のレベルアップに向けた医療職若手交流のため、研修会・ワークショップを開催した。初の東北地方開催となった CADP をはじめとして、第19回臨床疫学ワークショップや、若手精神科医同士のネットワーキングを活性化しつつ、会員および精神医療全体の充実に向けて活動を行なった。製薬会社や就労支援事業所などを超え、他医師団体や地方の病院、薬局団体などとの交流も深め、活動の幅を広げるための土台を築いている。令和7年度も、より多分野の業界にアプローチし、若手精神科医の集いである我々の活動の支援を受けつつ、相互作用を起こせるように準備をしていく。また JYPO20年誌作成も予定している。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 5,388 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
精神医療に関する調査及び研究事業	JYPO のネットワークを通じて国内外の研究者と協力し、研究の立案・遂行・公表を行う。	通年	インターネット上、多施設	10名	精神科医及び関心のある市民など不特定	多数	0
精神医療に関する調査及び研究事業	精神医療に関する書籍の翻訳・出版を行い、精神科関連職種や一般市民に公開する。 出版社等より翻訳の委嘱を受ける。	通年	インターネット上、多施設	20名	精神科医及び関心のある市民など不特定	多数	0
精神医療に関する普及啓発事業	各地域での交流会、オンラインでの集会、マーリングリスト、SNSでの活動を通じ、会員同士や海外の若手精神科医との交流を促進する。	令和7年1月19日	オンライン	20名	精神科医及び関心のある市民など不特定	多数	23
精神医療に関する普及啓発事業	若手精神科医の学術・臨床的発展のための研修会を企画・運営し、その成果物を一般に公開する。	令和7年2月8日～2月10日	福島・いわき	40名	若手精神科医を含めた医療者、関連する職種、市民など	多数	4,536
精神医療に関する普及啓発事業	国内外の学会において、調査・成果物を公開すると共に、精神医療に関する普及啓発事業を目的とする団体とのネットワークを構築する。	通年	日本精神神経学会を含め、複数回	多数	精神科関連職種および関心のある市民	多数	0
精神医療に関する普及啓発事業	自殺予防を含む、精神保健に関する教育・啓発プログラムである MHFA の一般市民や医療従事者への普及を、MHFA-J と協力して行う。	通年	多施設	15名	精神科関連職種および関心のある市民	多数	0
精神医療に関する普及啓発事業	他団体と連携し、精神医療の普及・啓発に努める。メンタルヘルスに関わる講演・講習の委嘱を受ける	通年	多施設	20名	不特定多数	多数	0

精神医療に関する情報提供事業	facebook およびメーリングリストの定期的活動報告・宣伝、ホームページにおける活動報告や情報発信・告知を行う。	通年	多施設	5名	不特定多数	多数	0
精神医療に関する情報提供事業	災害精神医療や新型コロナウイルス感染症に関する情報提供、被災地支援、支援者支援を行う。	通年	多施設	10名	不特定多数	多数	0
精神医療に関する情報提供事業	The 21st CADP 報告書の出版	6月	国内の多施設、ウェブサイト	多数	若手精神科医を含めた医療者、関連する職種、市民など	多数	829

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)